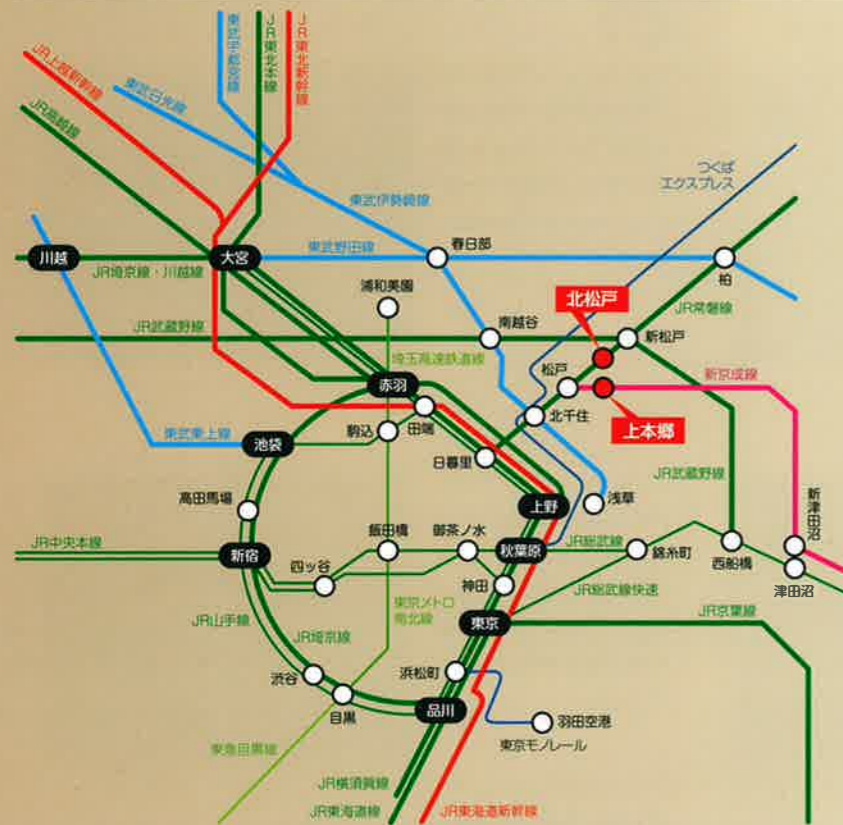


MATSUDO CITY HOSPITAL

●交通アクセス



<交通案内>

- 常磐線(千代田線)北松戸駅東口下車 徒歩10分
- 新京成線上本郷駅下車 徒歩10分
- バス 松戸駅東口発(北松戸駅東口経由) 県立松戸高校行にて市立病院下車



<http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>



松戸市立病院

病院案内

地域全体で支える 医療体制を目指して



すべての患者さんに納得のいく医療を提供します。



病院長
江原 正明

地域基幹病院として、(1) 全身のあらゆる疾患に病んでおられる患者さんをいつでも受け入れ、すべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院を目指します。(2) 個々の患者さんの立場に立って、ご本人の意思を尊重し、安全かつ良質で思いやりのある医療を提供し、皆様に満足していただきます。(3) 自らの医療に誇りを持って診療し、その成果を患者さんと共に喜び合います。(4) 患者さんが効率よく診療が受けられるように皆様の「かかりつけ医」と紹介状を通して連携を密にします。(5) 皆様が健康で安心して暮らせるように今後とも職員一同、日々研鑽を積んでいきます。

患者さんと医療者の信頼関係に根ざしたパートナーシップを。



病院事業管理者・総長
植村 研一

患者さんから「ここに来てよかった」と思われる病院を目指して、(1) うそのない医療、(2) 患者のための医療、(3) チーム医療、に徹するよう努めています。うそのない医療においては、同時に患者の心を傷つけてはならず、うそをつかない、逃げない、ごまかさないの3原則も守らなければなりません。
患者さんと医療者とは利害が相反する場合が多く、患者さんのための医療に徹するには医療者側のエゴを抑制する必要があります。そのためにも、医師、看護師、コメディカル、事務職員等のチーム医療が不可欠です。また、医療を高める研究や、スタッフ教育も必要です。

■ 病院概要 (平成23年4月1日現在)

- 病床数 ● 総数613床 (一般病床605床 感染症病床8床)
- 診療科目 ● 内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・神経内科
呼吸器内科・総合診療科・化学療法内科・外科・整形外科
脳神経外科・心臓血管外科・呼吸器外科・形成外科
小児科・小児外科・新生児科・小児心臓血管外科
リハビリテーション科・放射線科・皮膚科・麻酔科・精神科
緩和ケア科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科
- 特 色 ● 〇臨床研修指定病院 〇臨床修練指定病院
〇地域医療研修センター 〇各学会認定研修病院
〇救命救急センター
〇小児医療センター
・小児無菌病床2床 院内学級「ひまらや学級」
・新生児緊急収容車(ドクターカー1台)
・NICU: 12床
・小児科/小児外科重症室: 11床
〇千葉県災害拠点病院
〇中国ハルビン医科大学第一臨床医学院姉妹病院
〇臓器提供施設 〇地域がん診療連携拠点病院
〇第二種感染症指定医療機関 〇日本医療機能評価機構認定病院
- 付属施設 ● 松戸市立病院附属看護専門学校
松戸市立病院附属保育所「まつどがくえん」
- 姉妹病院 ● 松戸市立福祉医療センター東松戸病院
介護老人保険施設「梨香苑」



■ 沿革

- 昭和25年11月25日 ● 松戸市国民健康保険病院開院 (松戸市小山浅間台705番地)
診療科目: 5科 病床数: 25床
- 昭和42年 7月 1日 ● 「国保松戸市立病院」と病院名を改称
9月19日 ● 松戸市上本郷に移転、25日より前面診療開始
- 昭和43年 8月 6日 ● 救急病院の指定
- 昭和45年 2月 1日 ● 国保松戸市立病院附属看護学院を設置
- 昭和48年 6月16日 ● 松戸市立病院高等看護学院(看護科2年過程)を設置
- 昭和53年 1月 1日 ● 看護学校を「国保松戸市立病院附属看護専門学校」と改称
- 昭和56年 2月 6日 ● 厚生省より臨床研修病院の指定
- 昭和57年12月28日 ● 中国黒龍江省ハルビン医科大学附属第一医院と姉妹病院となる
- 昭和58年 3月29日 ● 小児医療センター完成
- 昭和60年 4月 1日 ● 千葉県第3次救命救急病院の指定
- 昭和62年 4月 1日 ● 国保松戸市立病院附属看護専門学校新築移転(看護科3年)
- 昭和63年 3月29日 ● 厚生省より臨床修練指定病院の指定
- 平成元年 4月 1日 ● 救急部の開設
- 平成8年 8月20日 ● 千葉県災害拠点病院の指定
- 平成10年 1月 1日 ● 臓器提供施設の認定
3月31日 ● 国保松戸市立病院附属看護専門学校の高等科(准看コース)廃止
- 平成11年 4月 1日 ● 第二種感染症指定医療機関の指定(8床)
- 平成15年10月30日 ● 管理型臨床研修病院の指定
- 平成17年 2月25日 ● 全国災害派遣医療チーム(DMAT)の発足
- 平成20年 2月 8日 ● 地域がん診療連携拠点病院の指定
- 平成21年 4月 1日 ● 救命救急センターを設置

【病院理念】

すべての人から「ここに来てよかった」と 思われる病院を目指します。

松戸市立病院は昭和25年に設立され、松戸市のみならず東葛北部地域の基幹病院として住民の方々が安心して医療を受けられるように非採算性の医療を含めて質の高い安全な医療を提供してまいりました。病院の使命は病でつらい思いをされている方々を病苦から救済することにより、多くの人々に希望や幸福をもたらすことにあります。患者さん本位で良質かつ安心、安全な急性期医療を提供してすべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院を目指します。今後とも地域住民の皆様あるいは他の医療機関のご支援とご信頼が得られますように全職員、日々研鑽を積み公立病院としての重責を果たしていきたいと存じます。

【基本方針】

1. 患者さんの権利を尊重し、安全かつ良質な医療ケアを提供します。
2. 小児医療、救命救急医療などを含めた急性期総合病院として、質の高い医療を提供します。
3. 地域の医療機関と連携し、地域完結型医療の中心的病院を目指します。
4. 職員が誇りと生きがいを持てる職場を作り、チーム医療を行います。
5. 臨床教育病院として医療人の育成に力を注ぎます。
6. 公立病院として自立した経営基盤を構築します。



市の鳥/ふくろう(森の鳥)
森の豊かさを表す代表的な鳥です。夜行性で木の洞穴などで繁殖します。市内でも数ヶ所で確認されています。私たちはふくろうの目を持って、市民の皆様を見守り続けます。



地域循環型医療連携

地域の医療機関や診療所と連携し、患者さんの症状に応じた必要なケアをシームレスに提供できる医療体制を提供します。急性期医療の使命を全うするためには、プライマリ・ケアを担う地域医療機関や診療所との連携が不可欠です。

受け継がれる命への敬意

地域の高度専門医療を支える、千葉県東葛北部保健医療圏の中核的病院。

救命救急センター



事故などによる重篤・最重症者や地域の医療機関や診療所からの急変緊急患者の受け入れを365日24時間体制で対応しています。(日本救急医学会指導医指定施設)



●救命医療の最後の砦として
松戸市はもとより市川市、柏市をはじめ東京都東部地域など、広い範囲から重症救急患者さんを受け入れています。



●救急外来
●救急病棟

小児医療センター



子どもたちの笑顔と健やかな成長が私たちの願いです。多くのスタッフがAHA (American Heart Association) 公認のPALS (Pediatric Advanced Life Support) プロバイダーの資格を有し小児救急に対応、また、産婦人科をはじめとして各科連携によって超低体重児、難病など高度専門小児医療を担っています。



- 小児科 ●小児外科
- 新生児科 ●小児心臓血管外科
- 小児総合病棟/60床
- 新生児病棟/70床
- NICU (新生児救命救急治療室) /12床
- GCU (保育室) /58床
- 新生児緊急収容車 (ドクターカー) /1台
- ひまわり学級/小学部・中学部 (院内学級)

地域がん診療連携拠点病院



●緩和ケアチーム

医師をはじめ専門知識を有する認定看護師や薬剤師など多職種による緩和ケアチームの活動。専門医療とともに患者さんや家族の心をサポートします。

医療と教育

地域全体で支えるチーム医療



姉妹病院/福祉医療センター



●東松戸病院

慢性期医療を担う松戸市の公立病院・介護老人保健施設「梨香苑」を併設し、急性期の松戸市立病院と連携し患者さんの日常生活への自立をバックアップ。



●介護老人保健施設「梨香苑」



●訪問看護ステーション

チーム医療を支える人と心

互いの尊敬と信頼に根ざしたチーム医療がプロフェッショナリズムを育みます。医療技術と思いやりによる良質な医療ケア。

臨床研修指定病院



救命救急センター、小児医療センターを有し、第3次救命救急から、common diseaseまでを経験できることが特徴です。経験豊かな指導医と充実したプログラム。(日本救急医学会指導医指定施設)

●初期研修カリキュラム

○1年目/基本的な診療能力
プライマリケアを中心とした全人的医療のスキルUP
【必修診療科、内科、外科、救命救急センター】

○2年目/専門性を高めるステップ
院内のチーム医療と地域医療ネットワークの重要性を認識し、さらに専門分野の経験を積みます。
【地域医療、小児科・産婦人科を経て、選択診療科へ】



附属看護専門学校



「人間性豊かな看護」をモットーに、専門知識の修得はもとより人間尊重を基盤としたコミュニケーションスキルの高い看護師を育成。



●看護科3年課程



施設紹介

全ての診療科と病院スタッフが、皆様に「ここにきてよかった」と思っていただけの病院を目指しています。また、高度医療機器を使用した精密な検査と、専門の読影医による的確な診断で、急性期医療、地域医療をサポートします。

施設配置

◆施設概要

病床数 613床(一般605床/感染症8床)
 休診日 土曜日、日曜日、祝祭日
 年末年始(12月29日～1月3日)
 面会時間 平日
 /PM2:00～PM8:00
 土日祝祭日
 /AM11:00～PM8:00

1号館	
5F	病棟(整形外科)
4F	病棟(内科・消化器内科・耳鼻咽喉科・皮膚科)
3F	病棟(外科・呼吸器外科・泌尿器科)
2F	病棟(集中治療室・産婦人科)
1F	外来診察室・救急室・通院治療室 医療安全推進室・医事課 地域連携課(医療なんでも相談窓口) 薬局長室・薬局
B1	MRI室・グリラ・売店・理容所
5号館	
4F	部長室
3F	研究室
2F	診療局長室・医局・図書室
1F	病理科・研修医室・医療技術局長室
B1	機械室



4号館	
1F	小児病棟(小児科・小児外科)
B1	新生児病棟・ひまらや学級
B2	機械室
3号館	
4F	病棟(血液内科・眼科・放射線科)
3F	病棟(救急)・機能訓練室
2F	手術室
1F	放射線撮影室・臨床検査室
B1	放射線撮影室・臨床検査室
B2	放射線治療室・中央材料室
2号館	
6F	機械室
5F	会議室・職員食堂
4F	管理者室・総長室・院長室 管理局長室・副院長室
3F	病棟(心臓血管外科・循環器内科・形成外科) 看護局長室
2F	病棟(脳神経外科・神経内科)
1F	外来診察室
B1	感染症病棟・RI室・CT室 病理解剖室・霊安室
B2	中央監視室

各局紹介

医療安全局	看護局	診療局	医療技術局	薬局
中央放射線科 臨床検査科 病院病理科 輸血室 ME室				

◆診療科

内科系	外科系	小児系	その他	
内科	外科	小児科	リハビリテーション科	耳鼻咽喉科
血液内科	整形外科	小児外科	放射線科	泌尿器科
消化器内科	脳神経外科	新生児科	皮膚科	リウマチ膠原病センター
循環器内科	心臓血管外科	小児心臓血管外科	麻酔科	脊椎脊髄センター
神経内科	呼吸器外科		精神科	人工関節センター
呼吸器内科	形成外科		緩和ケア科	救命救急センター
総合診療科			産婦人科	女性特別外来
化学療法内科			眼科	

医療機器

心臓カテーテル・アンギオ装置

虚血性心疾患・先天性心疾患の心臓カテーテル検査をはじめ、脳血管・腹部血管・下肢血管の検査及び、各分野のインターベンション(経皮的血管内治療)に幅広く対応するパイプライン装置の血管撮影室です。



MRI (GE社製SIGNA EXCITE1.5テスラ)

頭部から足先までほぼ全身の検査が可能です。8chマルチコイルとパラレルイメージングを使用して短時間で高画質撮像ができます。CTでは抽出不能な疾患も撮影が可能です。



CT

Ligt Speed VCT(64列)で胸から骨盤までを約7秒で撮影可能です。また、通常の単純、造影CTの他、CTアンギオ等にも対応しています。



臨床検査

採血室、体外受精、生理検査、輸血検査、血液検査、一般検査、生化学検査、細菌検査など11のパートに分かれて検査をしております。診察前検査など迅速検査、第三次救命救急センター、小児医療センター等の救急医療体制にも対応した24時間稼働の検査室として、皆様が安心できる地域医療を目指しています。



RI

デジタルガンマカメラE.CAM2台を有し、骨シンチの他、腫瘍炎症シンチ、脳血流シンチ、心筋シンチ等のSPECT検査、その他多種多様な核医学検査に対応しています。



マンモグラフィ



通常の2方向撮影に加え、拡大・スポット撮影が可能な高精度な装置です。検診から精密検査まで様々なニーズに対応しています。当院での撮影は主に認定技師が行い、読影についても認定医師による体制が確立しています。

リニアック



放射線治療の装置です。他院から紹介され、通院治療されている患者さんは半数以上いらっしゃいます。当院はできる限り患者さんの立場にたち、優しさを心がけた放射線治療を行っております。

